

2008年10月1日制定

2011年 4月1日改定

2025年3月28日改定

## JIB倫理・行動指針

株式会社日本国際放送(以下JIB)は、国際発信の強化を目指して、NHKと民間放送、商社、情報通信、金融の各社の出資によって設立され、オールジャパンの体制で日本の魅力を共創し世界に伝えることを掲げています。

私たちは、その使命と社会的責任を深く自覚して、国際社会や地域社会、働くすべての人、取引先など、あらゆるステークホルダーの利益を最優先に考え、期待に応える行動をとります。

そのうえで、次のことを行動の基本とし、「国際発信のプロ集団」として誠実に職務を遂行します。

### ○ 公平、公正を堅持し、正確な情報を世界に届け、信頼される国際放送を支えます。

- ・ 幅広い視点から正確なコンテンツを世界に届け、国際社会や日本の地域社会に貢献します。
- ・ 国際放送の発信に関わるひとつひとつの業務に真摯に向き合い、信頼性を高めるよう努めます。
- ・ あらゆる業務の過程で人権・人格を尊重し、一切の差別や偏見を排除します。出演者や制作スタッフ、取引先など、業務で関係するすべての人たちに誠実に接します。

### ○ 透明性のある業務を遂行します。

- ・ 放送法に基づいて設立された公共性を有する会社であることを認識し、コスト削減を進めて効率的かつ効果的な業務推進に努めるとともに、適正な経理処理を行います。
- ・ 下請法やフリーランス・事業者間取引適正化等法を含む関係法令や経理規程に準拠した透明性のある、適正かつ公正な取引を行います。
- ・ 重要な情報は関係法令やガイドラインに従って適時・適正に開示し、社会における信頼を構築します。

### ○ 人権を第一に考え、高い倫理観に基づく、責任ある行動をとります。

- ・ ひとりひとりの人権・人格を尊重し、いかなる人権侵害も許しません。
- ・ 公私においてJIBの一員として常に品位を保ち、社会の良識に基づき、責任と自覚をもって

行動します。

- ・ 情報セキュリティを確保するとともに、機密情報や個人情報を厳重に管理し、漏えいさせません。
- ・ 職務上知りえた情報を個人の利益のために利用しません。退職後も含め、情報漏えいをしません。
- ・ 暴力団など、社会の秩序や安全に脅威を与える団体や個人からの不当な要求には一切応じず、常に毅然とした態度で臨みます。

○ 多様な価値観を認め合い、だれもが健康でいきいきと働ける職場を作ります。

- ・ 多様な人材がそれぞれのライフスタイルに応じた働き方ができ、能力を最大限発揮していきいきと働ける環境を作ります。
- ・ あらゆる差別やハラスメントを許しません。
- ・ 業務運営に関わるすべての人の健康確保と安全管理を徹底します。
- ・ ひとりひとりがスキルや専門性の伸長に努めて、最大のパフォーマンスを発揮することにチャレンジし、JIBの持続的な成長に貢献するよう努めます。

○ 地球環境を意識して行動し、持続可能な社会を築きます。

- ・ 地球環境の保全に寄与する行動に徹します。循環経済の実現に向けて、すべての業務において、省エネや資源の再利用、廃棄物の削減を推進します。
- ・ 持続可能な手法でのコンテンツ制作を進め、環境や社会課題の解決につながる発信を行います。
- ・ ESG経営に根差した行動を常に心がけ、持続可能な社会の発展に貢献します。

私たち役員・社員は本指針の精神の実現を自らの役割と認識し、その徹底を図ります。

不適切な行為には毅然として対応します。必要に応じて上司、または通報窓口等に連絡・相談します。役員および各組織の長は、本行動指針の遵守・徹底の責任者としてリーダーシップをとるとともに、本指針に反する事態が発生した際には、迅速に調査と原因究明にあたり、再発防止策を講じ、社会への説明責任を果たします。

本指針に反する行為には、規程等に基づき、厳正に対処します。